



給食だより



令和7年10月31日
調布市立神代中学校

11月になり朝夕の冷え込みも強くなり、秋が深まってきた。間もなく冬の足音も聞こえます。いろいろな食べ物がおいしい季節ですが、この時期は体調を崩しやすくなります。規則正しい生活を心がけ元気に過ごしましょう。

地場産物を食べて

地産地消！



地産地消とは、地域で生産された食材をその地域で消費することです。

今月の給食では、地場野菜の大根と人参が登場します。

地産地消のよいところ

- ・生産地が近く、つくっている人や場合がわかるので、新鮮で安心な食べ物が手に入ります。
- ・地域で作られたものを買うと、その地域の経済を活性化させ、生産者を応援することができます。
- ・輸送距離が短いので使う燃料が少なく、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出も減ります。

感謝を込めていただきます！ ごちそうさま！



食事の前後のあいさつには、食べ物の命をいただくことや、食事を作るために関わった人たちへの感謝の気持ちが込められています。11月23日は勤労感謝の日です。私たちが安心・安全に食事をするために大勢の人たちが協力してくれています。心を込めてあいさつをしましょう。

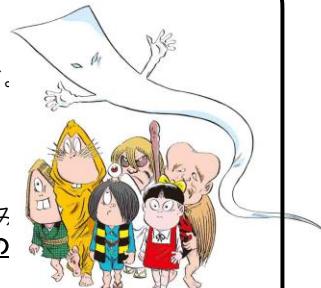


11月の献立紹介

～水木マンガの生まれた街 調布～



©水木プロ



©水木プロ

「ゲゲゲの鬼太郎」の作者である漫画家・水木しげるさんは調布市の名誉市民です。鳥取県境港市で育ち、昭和34年から93歳で亡くなるまでの56年間を調布市で過ごしました。

調布市では、水木しげるさんの功績を称え、命日である11月30日を「ゲゲゲ忌」

とし、様々な催しが行われています。そこで、神代中学校でも「ゲゲゲ忌」にちなみ11月27日と28日の給食に水木しげるさんが大好きだった焼き飯や、一反木綿のスープ・ぬりかべトーストを取り入れました。

また今年も図書室に水木しげるさんコーナーがありますので、この機会にぜひ本も読んでみてください。

木島平村姉妹都市盟約40周年

昭和60年8月1日に調布市は、教育や文化、スポーツ、産業など広く交流を図り、住民相互のふれあいを深めながら発展を図ることを目的とし、長野県の木島平村と姉妹都市盟約を結びました。今年は盟約を結んで40周年です。そこで、26日は木島平村デイとして、木島平村産の食材を取り入れた献立になっています。

【お知らせ】

※全学年：5日(水)は午前授業のため、
11日(火)・12日(水)・13日(木)は定期考査のため、給食はありません。

※2学年：7日(金)は音楽鑑賞教室のため、
28日(金)は校外学習のため、給食はありません。